

ICT教育推進課では、昨年度から「ICT支援員事業」を実施しています。今年度の通信でも何度かお知らせしていますが、今月から後期支援が始まりました。今回の通信では支援の内容や予約の変更方法のほか、生成AIの利活用に関するプロジェクトで実施する公開授業について掲載していますのでご覧ください。

「道立学校ICT支援員を活用した学校DX推進事業」後期支援開始！

全ての道立学校を対象に実施している「道立学校ICT支援員を活用した学校DX推進事業」は、**今月から後期支援を開始しました**。前期支援から以下の内容を変更していますので、必ずご確認の上、支援を受けるようにしてください。

1 支援内容

(1) 学校の取組状況に応じた支援 (30分)

- ・令和7年8月に実施した「学校DXチェックリスト※1」に基づき、支援員がヒアリングシート※2を使って学校の取組状況を聞き取り、取組事項を協議して、支援を行います。
→ ヒアリングシートの事前の入力は不要です。支援日当日、お手元にご準備の上、支援員との協議内容や合意事項などを記入してください。
- ・取組状況の進捗を2ヶ月後を目途に確認し、継続的な支援を行います。
→ ヒアリングシートに記載した協議内容や合意事項について、進捗を確認した上で、今後の取組の方向性を協議します。



(2) 支援メニューに基づいた支援 (30分)

- ・初級・中級・上級の3段階のメニューから支援内容を選択して、支援を受けることができます。
- ・支援日当日は、複数の先生が参加して研修スタイルで支援を受けるなど、学校の実情に応じた支援のスタイルを検討してください。



前期のメニューに加えて、生成AIの利活用や教科特性に応じたツールの活用方法などを増やしています。
学校の現状に合わせた支援メニューを選択ください。

2 支援日の変更方法

- ・日程の変更は、校務DX支援サイト内にある「道立学校ICT支援員を活用した学校DX推進事業」特設サイト（以下のURL）から行います。

URL：<https://sites.google.com/hokkaido-c.ed.jp/ictdx>

（@hokkaido-c.ed.jpのアカウントでログインが必要です。）

【参考】

※1：令和7年（2025年）7月23日付け教ICT第230号「道立学校におけるICT活用の推進について」

※2：令和7年（2025年）9月8日付け教ICT第308号「道立学校ICT支援員を活用した学校DX推進事業における後期支援体制について」

研修動画公開サイトオープン！（※限定公開）

昨年度まで、ICT教育推進課で実施した研修は、研修終了後に、研修受講者のみを対象として、研修動画を限定公開していました。この度、全ての道立学校職員が視聴できるように、研修動画を公開するウェブサイトを作成しました。今年度実施した研修はもとより、昨年度以前の研修動画も掲載していますので、校内研修等でご活用ください。

研修受講者以外も閲覧可能です！

URL：<https://sites.google.com/hokkaido-c.ed.jp/ictkensyuu250911>

↑上記URLは、道立学校の職員専用のURLです。市町村立学校の職員については、各研修の動画編集が終了した段階で、随時、研修資料格納先（※各研修の実施要項に記載）に各動画のURLを掲載しますので、そちらをご確認の上、ご視聴ください。

※参考：令和7年（2025年）9月11日付け事務連絡「各種ICT研修のアーカイブ配信について」



今号のコラム

生成AIを利活用した研究授業を公開します！（10月30日）

10月30日（木）、札幌啓成高校において、今年度実施している「生成AIの利活用に関するプロジェクト」の取組の一環として、生成AIを利活用した研究授業を公開します。申込みは、各道立高校に通知している「BRIDGE構築事業 授業研究等セミナー」の実施要項をご確認ください。

[時程] 12:45～開会 12:50～説明 13:25～研究授業①、研究授業② 15:25～研究協議 16:15～閉会

【授業研究①】・・・理科（物理基礎）、外国語（論理・表現Ⅰ）

理科（物理基礎）

- 単元の総括の場面で生成AIを活用します。
- 先生が生成AIを用いて作成したHTML教材を紹介します。
- 生徒が自らの学習を振り返りながら、協働的に問題作成に挑みます。

外国語（論理・表現Ⅰ）

- 特定の文法表現を使った英作文を生成AIを用いて推敲します。
- 普段の授業での活用方法を紹介します。
- 生成AIと対話したり、ループリックを基にペアで話し合ったりしながら協働的に学びます。

【授業研究②】・・・第1学年と第2学年の総合的な探究の時間（FVⅠ、FVⅡ*）

総合的な探究の時間（FVⅠ）

- 情報の収集、まとめ・表現の過程で生成AIを活用します。
- 生徒が多様な他者を想定しながら、生成AIを活用します。
- 確かな情報源を基に回答を生成するNotebook LMを活用します。

*・・・FVは、札幌啓成高校の総合的な探究の時間の名称で、Future Visionの略。

総合的な探究の時間（FVⅡ）

- アイヌ・シサムとの民族共生をテーマに、生成AIを用いて多様な視点から探究の高度化を試みます。
- 課題解決に向けたプログラミングについて、生成AIと対話しながら修正します。
- 高校生の探究のレベルに合わせて回答を調整する「探Qメイト」を活用します。

【研究協議】・・・理科、外国語、総合的な探究の時間の3つの分科会で協議します！

協議テーマ：「各教科の授業における効果的な生成AIの活用について」

※参考：

- ・令和7年（2025年）4月10日付け教ICT第31号「令和7年度（2025年度）ICTを活用した学びのDX事業「生成AIの利活用に関するプロジェクト」生成AI利活用推進研修の実施について」
- ・令和7年（2025年）4月10日付け教ICT第32号「令和7年度（2025年度）ICTを活用した学びのDX事業「生成AIの利活用に関するプロジェクト」生成AI利活用推進プロジェクトメンバーの募集について」

授業等研究セミナー（道央・道南ブロック：情報）の実施

高校教育課所管の「BRIDGE構築事業」において、ICT教育推進課では、教科「情報」の授業等研究セミナーを担当しています。先日、札幌北高校で道央・道南ブロックのセミナーを実施しました。

今年度は「情報デザイン」の単元で生成AIを利活用した授業を公開したほか、実践発表等行い、オンラインも含め約35名の先生方の参加がありました。

道北・道東ブロックのセミナーは、12月3日（水）に帯広緑陽高校で実施します。こちらもオンライン配信を予定していますので、ぜひご参加ください。



北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

URL <https://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/index.html>

